

地元祭礼で地域貢献

今年も神輿の接待所を提供

イ タ バ シ

【新宿区＝東京】昭和シェル系特約店のイタバシ（本社東京都新宿区＝板橋考史社長）は今年も二十一日に行われた地元・赤城神社の祭礼で弁天町SSを

神輿の担ぎ手らに飲食を振る舞う「接待所」として提供した。地域

貢献の一環として二十年以上も続けているもので、いつもは給油客のオアシスになっているSSは、神輿（みこし）と担ぎ手の「癒し

各地を練り歩いた神輿が弁天町SSに到着した夕方、自らもハッピを着て出迎えた板橋社長は「地域と共に発展するのは、わが社の基本理念の一つで、地元商店と一体となり活性化を目指し、毎年、

天町の志村秀彦町会長と固い握手を交わし、地域共生を重視したSS経営をあらためて示した。接待所となった弁天町SSでは、板橋邦夫会長夫人、板橋社長夫人をはじめSSスタッフの家族が心を込めてつくったサンドイッチやおにぎり、煮込みなどを満喫。空腹が

神輿の接待所を提供している。今後も地域活性化に少しでも役立ちたい」と強調。地元弁

天町はいまだに下町風情が残る地域、町内だけでなく他地域からも参加するなど年々、地域内外からも注目され、神輿効果で地域活性化につながっている



左から板橋会長、志村町会長、板橋社長



神輿の接待所となった弁天町SS

情が残る地域、町内だけでなく他地域からも参加するなど年々、地域内外からも注目され、神輿効果で地域活性化につながっている「の声を聞かれた。